

令和元年度 権利擁護セミナー

『障害者権利条約』の批准・発効や、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律など障がい者の権利擁護への関心、さらには知的障がい者などの意思決定支援への動きは、障がいに対する捉え方、考え方が大きく変化してきたことを物語っているのではないのでしょうか。

このような動きを踏まえて、今回のセミナーでは、障がい者が偏見、差別的、排他的に扱われてきた歴史のなかで優生思想について考え、学ぶ機会にしたいと思っています。

また、支援現場からは、行動障がいの方々と同じく現場の基本対応や障がいへの理解を深めたいとの要望は続いています。さらに支援職員のストレスマネジメント、メンタルケア、リスクマネジメント等々への関心が高いことから、現場からのニーズに応えるかたちで今回のセミナーを企画させていただきました。

日々、利用者支援で悩み、問題、課題を抱えながら実践努力されていることと思いますが、本セミナーでは、多くのヒント、解答を得られる機会になるのではないかと思います。

多くの方のご参加をお待ちしています。

1. 日 時 令和元年8月1日(木) 10時～16時30分
2. 会 場 かでる2. 7 1階 かでるホール 札幌市中央区北2条西7丁目
3. 参加対象 北海道知的障がい福祉協会会員施設・事業所の職員
4. 参加費 3,000円(当日申し受けます)
5. 締 切 令和元年7月17日(水)
6. 日 程
 - 9:20 受付開始
 - 10:00 開会 挨拶 北海道知的障がい福祉協会 会長 荒 洋一
 - 10:10 講演Ⅰ『行動障害の理解と予防』
札幌市自閉症者自立支援センターゆい
所長 佐藤 貴志 氏
 - 11:40 昼食休憩
 - 13:00 講演Ⅱ『支援員として優生思想に向き合う』
ピアサポーター 安積 遊歩 氏
 - 14:30 休憩
 - 14:45 講演Ⅲ『アンガーマネジメント』
株式会社コミュニケーション・デザイン結
代表 桜井 妙 氏
 - 16:30 閉会

講師紹介：安積遊歩（あさかゆうほ）氏

1956年、福島県生まれ。生後約40日で「骨形成不全症」と診断される。1983年から半年間、アメリカのパークレー自立生活センターで研修を受け、ピア・カウンセリングを日本に紹介。障害をもつ人の自立をサポートする「CIL くにたち援助為センター」代表、コウ・カウンセリングの日本におけるエリア・リーダー、実践自然保護団体「日本熊森協会」顧問、立教大学コミュニティ福祉学部兼任講師等々多彩な経歴をもち、今もなお当事者運動に精力的に関わり様々な問題を社会に発信し続けている。『自分がきらいなあなたへ』2019年出版ほか著書多数。現在は、札幌市に在住。(太郎次郎舎エディタスHPより一部引用)